

- 1 単元 分数÷分数
- 2 指導計画（11時間完了）
 - (1) 分数でわる計算・・・・・・・・・・6時間
 - (2) 分数のわり算を使って・・・・・・・・3時間
 - (3) たしかめましょう・・・・・・・・1時間
 - (4) マイタイム・・・・・・・・・・1時間
- 3 本時の指導

(1) 目標

帯分数や整数を含むわり算の計算の仕方を考えることができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

帯分数を含む分数のわり算の計算の手順を考え、フローチャートに表す活動を行う。課題を解決するためにはどのような手順で計算を行えばよいかを考えることで、論理的に考える力を養うことができるようにする。

(3) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 本時のめあてをつかむ。	$5\frac{1}{4}$ mのひもを $\frac{3}{4}$ mずつに切ると、何本できますか。 ○ 立式につまずく児童には、簡単な数字に置き換えて問題を提示し、わり算で解けることに気付かせる。 ○ 「今までやってきた問題とどこが違っていませんか」と発問し、考えさせた後に、一人ずつのめあてを書くようにさせる。
(2分)	(1) 問題を読み、立式をする。	
(3分)	(2) 前時との違いから本時のめあてをつかむ。	
帯分数のある分数÷分数の計算の仕方を考えよう。		
10分	2 自力解決する。	○ 分数×分数の学習を想起させ、帯分数を仮分数に直すことに見通しをもたせる。 ○ 前時までのわり算のフローチャートと比較し、帯分数があることで増える手順について考えさせ、帯分数を含む計算のフローチャートを作るようにさせる。 ○ 児童の発言を基に、帯分数を含むわり算の計算のフローチャートを完成させる。 ○ フローチャートを活用して、帯分数を含む計算の仕方を隣同士で説明するように促す。 ○ 帯分数を仮分数に直すことができない児童には、分母と整数をかけ算したものを分子に足すことを伝えて、一緒に行う。
(4分)	(1) 帯分数を仮分数に直し、計算する。	
(6分)	(2) 計算の手順をフローチャートで表す。	
9分	3 帯分数を含む計算の仕方について全体で話し合う。	
(5分)	(1) 帯分数を含む計算のフローチャートを完成させる。	
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">予想される児童の発言</p> <p>・帯分数があると計算できないので、仮分数に直します。 ・逆数をかける前に仮分数に直すと約分がすぐに見える。</p>		

(4分)	(2) 教科書⑨の練習問題に取り組む。	○ 教科書に書かれている内容から整数は分数にして計算すればよいことに気付かせた後に、練習問題に取り組ませる。
14分	4 整数を含む計算の仕方について全体で話し合う。	
(3分)	(1) 教科書に数字を入れ、答えを出す。	○ 児童の発言から整数は分数にして計算すればよいことを抑える。
(7分)	(2) 整数を含む計算の仕方についてフローチャートに付け足す。	○ 整数を分数にするという言葉がフローチャートのどこにいればよいか問いかけ、「帯分数を仮分数に直す」と同じ段階に入ることに気付かせる。
(4分)	(3) 練習問題に取り組む。	○ 整数を分数に直して計算することができるか机間指導で確認する。

評価事項

帯分数を含むわり算や整数を含むわり算の計算の仕方をフローチャートに書き表すことができる。
【フローチャートへの表現】

…フローチャートを使い、順序に沿って計算するように促す。

☆…追加の問題に取り組ませ、更なる習熟を図らせるようにする。

5分	5 本時のまとめをする。	○ 「帯分数の時はどうですか」「整数の時はどうですか」と発問し、それぞれを分けて考えさせられるようにする。
帯分数は仮分数に、整数は分数に直してから計算すればよい。		
2分	6 本時の振り返りをする。	○ 「前に学習した分数×分数と比べて似ているところや違うところはありませんか」と発問し、振り返りを行う。
<p>予想される発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯分数は仮分数に直して計算するところがかけ算と似ていると思いました。 ・ かけ算と違うところはわる数の逆数をかけているところだと思います。 		

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動